

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ネオライフ児童園/放課後等デイサービス			
○保護者評価実施期間	令和7年1月30日		～	令和7年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数)	12名
○従業者評価実施期間	令和7年1月20日		～	令和7年1月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの利用児と保護者に寄り添った支援ができています。	一人ひとりの利用児の支援状況、家庭の状況を職員全体で把握し、保護者からの疑問や相談に迅速にお答えできるようにしている。	今後も、一人ひとりの利用児の支援状況、ご家庭のニーズを職員全体で共有し、利用児の支援と合わせて、さらに保護者支援にも取り組んでいく。
2	アセスメントやモニタリングを丁寧に行い、それらに基づいた個別支援計画書、専門的支援計画書の作成ができています。	利用児や家庭のニーズを把握し、それに基づいた支援を行っていくための計画書作成ができています。保護者の承認時には、丁寧に説明を行い、変更にも迅速に対応している。	利用児や家庭のニーズを把握し、それに基づいた支援を行っていくための計画書作成ができています。保護者の承認時には、丁寧に説明を行い、変更にも迅速に対応している。
3	定期的に通信を発行し、園の様子や情報提供などを行っている。	保護者に園での様子が伝わりやすいように、写真や絵を取り入れながら、発信内容も職員全体で検討し、作成している。	通信は、現在年に2回程度の発行となっているため、今後はさらに回数を増やししながら、日々の園内の様子が保護者に伝えられるようにしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育園や幼稚園、他事業所など、利用児が通う施設で、連携が取れている施設と取れていない施設がある。	他施設に情報提供を行い、他施設にも利用児の状況をお伺いしながら、支援の方向性を互いに決めていき、利用児がどこの施設に行っても安心して通えるようにしていく。	他施設の職員と連携が取れる関係づくりを行っていく。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会、また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられていない。	日々の支援を重点的に行なっているため、保護者やきょうだい向けのイベントを行えていなかった。	昨年、利用児の中で参加者を募ったお芋掘りのイベントを開催したため、今後は、保護者や兄弟児も参加・交流ができるイベントも検討していく。
3	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が設けられていない。	送迎時に個別での保護者支援、ペアレント・トレーニングは行っている。家族等も参加できる研修会や情報提供の機会については、検討中であるが、開催まで至っていない状況である。	今後も引き続き、個別の保護者支援、ペアレントトレーニングを行いながら、保護者同士も交流できるような研修会、また通信やホームページでの情報発信などを検討していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ネオライフ児童園/放課後等デイサービス				公表日	令和7年2月17日				
		利用児童数	13名		回収数	12名				
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	1		1				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12							
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	1		1				
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12							
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	1						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12							
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11			1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12							
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1						
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	0	4	3	5		今後、検討していきます。		
保護 者へ の説 明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	1						
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	1						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	3	1	3		現在は、個別で家族支援を行っています。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12				・連絡ノートで日頃からの子どもの情報を伝えている。	引き続き、行なっています。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	1		1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12							
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	3	2	6		今後、検討していきます。		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1		1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	1	1	3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	2		2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9			3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12				・とても楽しみにしている。	引き続き、楽しみに通所していただけるようにしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				・とても満足している。	引き続き、保護者の方や利用児に満足していただけるよう努めていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ネオライフ児童園		公表日		令和7年2月20日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		勉強のスペースと遊びのスペースに分けて、それぞれの支援に集中しやすいようにしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		利用人数よりも職員を多めに配置し、個別に対応が必要な時にも対応できるようにしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		視覚教材を用いて、時間の流れが理解できるようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日の掃除や整理整頓で生活しやすい部屋作りを行なっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		子どもの様子で必要な時に、個別のスペースで利用できる部屋がある。	
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		毎月の会議で職員全体に周知している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		評価表、その他、日々の送迎時に保護者の意向を確認し、職員全体で把握、改善点を相談した後、保護者にも共有している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		日々の話し合い、会議、個別面談などで意見を話す機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		評価結果は迅速に改善できるように対応している。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		職員が交代で研修を開催している。他の職員の前で学習したことを話す機会をとることで、さらに内容が理解できている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		日々、職員間で必要な支援について情報共有している。	

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		集団プログラムは、集団ゲーム遊びや運動遊び、カルタ遊びなど日によってプログラム内容を変え、様々な経験ができるようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		開始前には、保護者にお尋ねすることの確認や利用児の支援内容の共有を行い、どの職員が当たっても、対応できるようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		利用児の些細な言動や出来事、気持ちの面について把握し、必要に応じて記録している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者とやりとりを行なっている連絡ノートにお伝えしたい内容を記入し、こちらでもその日の記録としてコピーして残している。	
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		自分で考えられるような声掛けをする。難しい子には、どのようにしたいのか尋ね、一度やってみてもらい、その結果によって職員が必要な支援を行っていくようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>			まだ該当する子がいないため、今後移行の際に情報提供を行なっていくようにしていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>			今後、検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>		地域の公園に遊びに行った時に、関わって遊ぶことがある。	今後、他施設の子どもとも交流や活動ができる機会を検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>			今後、検討していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて保護者の方に助言を行い、家庭でも実践してもらうことで、園と家庭が支援が繋がっていくようにしている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		<input type="radio"/>		今後、検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		<input type="radio"/>		今後、検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>			今後、検討していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		利用児が知らない状況で訓練を行うことで、緊張感を持って訓練することができている。不安がる子には、個別に対応している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>				